

備える

支える

つなぐ

# 淡路さわやか県土

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

お問い合わせ先

淡路県民局洲本土木事務所  
企画調整担当  
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
[TEL] 0799-26-2055  
[FAX] 0799-24-4513  
[URL] <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
[e-mail] [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

発行：2022年8月8日

2022

Vol.61



## 社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に『備える』、日々の暮らしを『支える』、次世代に持続的な発展を『つなぐ』の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。

### I 『備える』～自然災害に備える防災・減災対策の強化～

南海トラフ地震等による最大クラスの津波や頻発する豪雨等による水害に備えるため、被害を最小限にとどめるよう地震・津波対策、総合治水対策、土砂災害対策を行います。

#### 福良港湾口防波堤整備工事（南あわじ市福良）



津波を福良湾の入り口で小さくするために、防波堤や水門を作っています。



2年後の完成に向けて、安全に気をつけて進めています。（港湾第2課 池藤主査）

#### 新町橋 耐震補強工事（淡路市郡家）



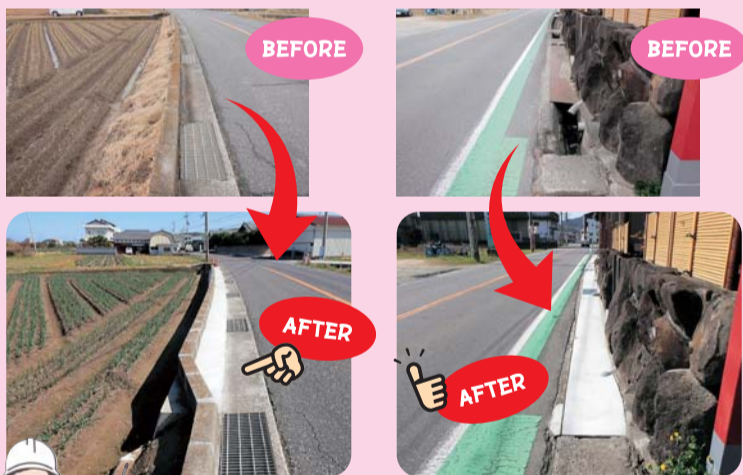
緊急輸送道路として地震発生後も通行できるように、新町橋の補強を行っています。



5月までに橋脚の補強を実施しました。落橋防止装置の製作、取付を進めています。（道路第1課 青田主任）

### 福良江井岩屋線 アワイチ対策工事（南あわじ市～洲本市）

自転車の通行時、溝に蓋がないと車が来た際に避けることが出来ず危険でした。



溝に蓋を掛けたことで、自転車の走行区間を拡げることが出来ました。（道路第2課 増田職員）

### II 『支える』～日常生活や地域を支える社会基盤の充実～

地域の交流を支える道路の整備、交差点の渋滞対策や歩行者の安全対策、スポーツやレクリエーションを安心・快適に利用できるよう公園の改築等を行います。

#### 大谷鮎原神代線 歩道設置工事（淡路市大町畑）

歩道がなく、歩行者の安全のため歩道設置工事を行います。



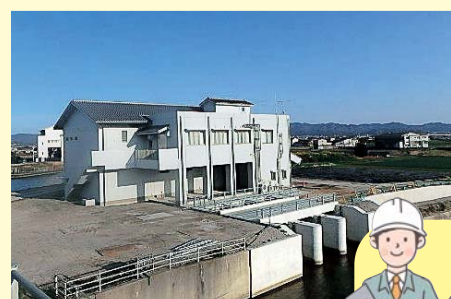
年度内に歩道工事の完成及びため池の機能回復を目指します。（道路第1課 太田職員）

### III 『つなぐ』～次世代につなぐ社会基盤の形成～

地域活性化の基盤となる基幹道路ネットワークの整備、今後急速に進展することが懸念される社会基盤施設の老朽化対策などを行います。

#### 孫太川 排水機場更新工事（南あわじ市松帆西路）

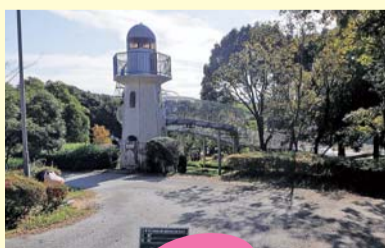
浸水被害を軽減するため、古くなった排水機場の更新工事を行っています。



新しい排水機場が完成したので、今は古い排水機場の撤去工事を進めています。（河川砂防課 井出主査）

#### 淡路島公園 遊具改修工事（淡路市楠本）

古くなって、今の安全基準を満たせなくなった遊具の改修を行っています。

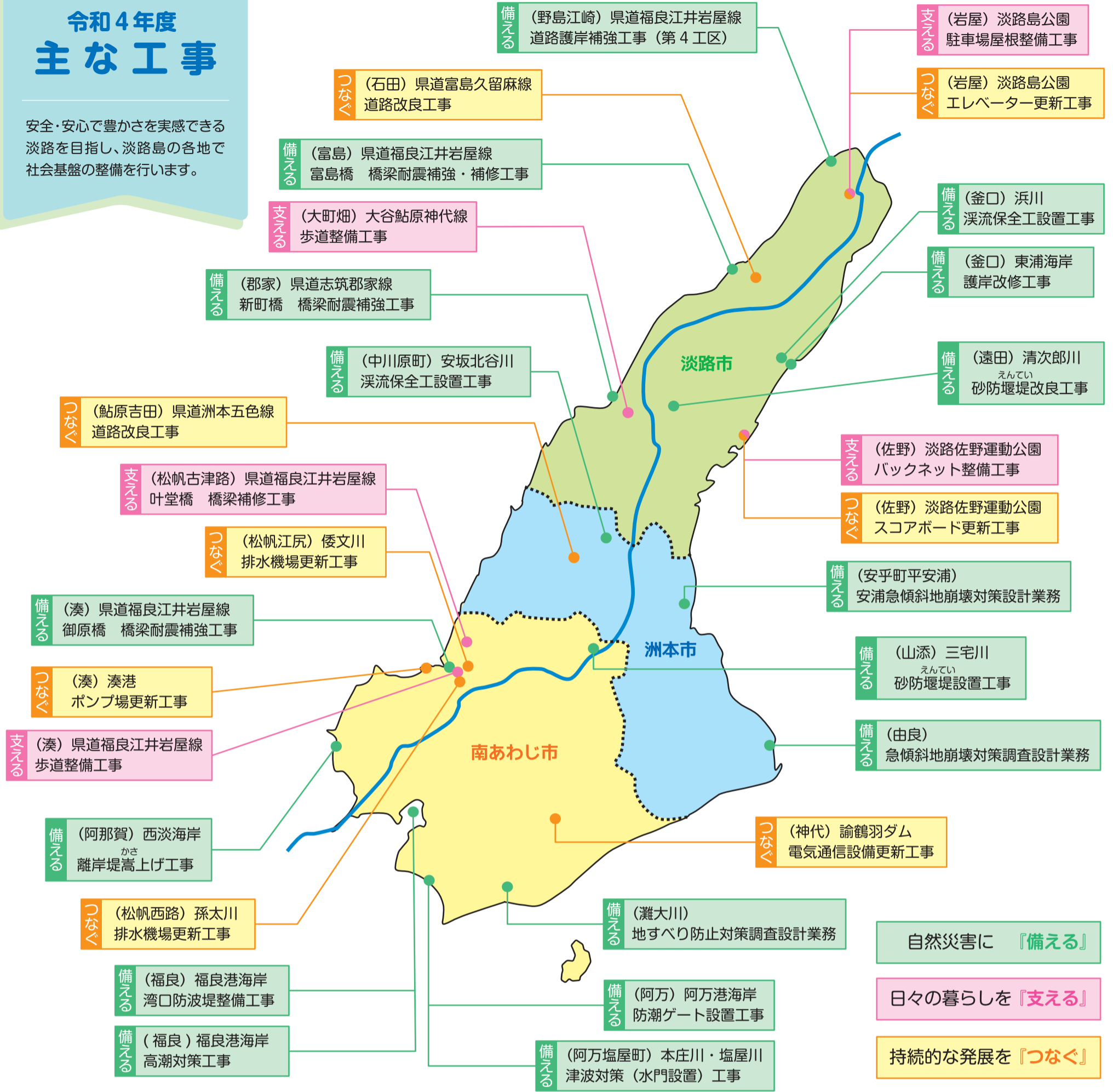


写真の幼児・乳幼児ゾーンに引き続き、今年度は小学生ゾーンを改修します。（港湾第1課 喜納課長補佐）



# 令和4年度 主な工事

安全・安心で豊かさを実感できる  
淡路を目指し、淡路島の各地で  
社会基盤の整備を行います。



- 自然災害に『備える』
- 日々の暮らしを『支える』
- 持続的な発展を『つなぐ』

## お知らせ

### 『あわじ足ナビポータルサイト』 が開設されました！

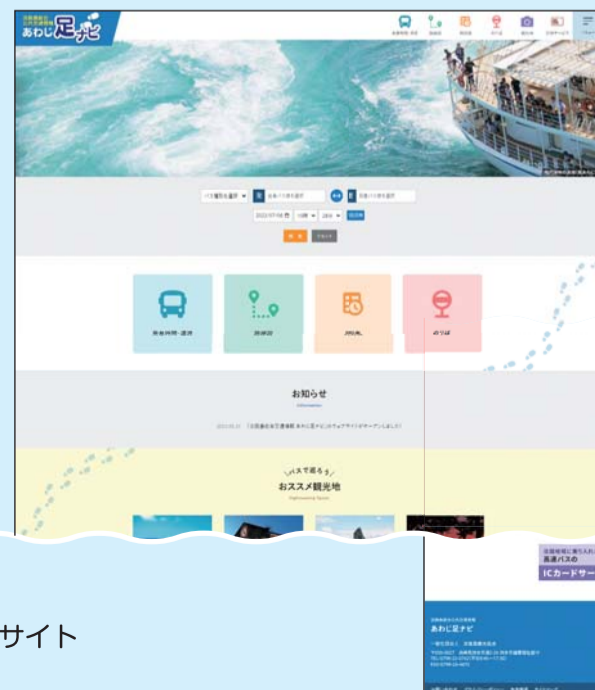
淡路島総合公共交通情報『あわじ足ナビポータルサイト』  
をぜひご利用ください。観光客が公共交通を利用しやすく  
するため、高速バス、路線バス、コミュニティバス、旅客  
船の時刻表、乗り換え情報を簡単に、わかる項目、目的か  
ら検索が可能です。淡路島内の観光情報も検索可能です。

「足ナビポータル (http://www.awaji-ashinavi.jp/)」  
で検索、または下記の  
QRコードからご覧ください。



足ナビポータル 検索

足ナビポータルサイト  
TOPページ



スマホやタブレットから  
かんたんに検索できて  
とっても便利！



備える

支える

つなぐ

お問い合わせ先

発行：2022年12月1日

淡路県民局洲本土木事務所  
 企画調整担当  
 〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
 [TEL] 0799-26-2055  
 [FAX] 0799-24-4513  
 [URL] <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
 [e-mail] [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

2022

Vol.62

# 淡路さわやか県土

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

## 社会基盤整備の取り組みについて



安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に『備える』、日々の暮らしを『支える』、次世代に持続的な発展を『つなぐ』の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。



## 「緑の道しるべ」の紹介

淡路島は、豊かな緑と美しい海岸線を持ち、またくにうみ神話の島として、古い歴史とすばらしい伝統文化を有する島です。兵庫県では、緑あふれる道づくりを目指し、淡路島の県道 福良江井岩屋線と県道 阿万福良湊線において、地域の歴史、文化的遺産や自然環境を生かした拠点緑化や沿道緑化を推進しています。

### 1 江崎公園 <淡路市>



淡路市野島江崎に、我が国で8番目に建設され、明治4年に点灯した洋式「江崎灯台」をモニュメントとし、「ワシントンヤシ」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。

### 2 大川公園 <淡路市>



弥生時代から奈良時代にかけて塩づくりが行われていた「貴船神社遺跡」が存在する事から、万葉集で知られ、塩づくりを行ったとされる「野島海人」の当時の「製塩風景」をモニュメントとし、旧町（北淡町）当時の町木「サクラ」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。

### 3 室津公園 <淡路市>



### 5 深草公園 <淡路市>



### 4 郡家公園 <淡路市>



旧町（一宮町）がくにうみ神話をはじめとする悠久のロマンを秘めた日本発祥の地であることから、幻想的な世界を絵物語として表現した「石影」をモニュメントとし、旧町（一宮町）当時の町木「ウバメガシ」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。

### 緑の道しるべ所在地図



### 7 慶野公園 <南あわじ市>



南あわじ市松帆慶野は、瀬戸内海沿岸でも屈指といわれる白砂青松の海岸線を有し、マリンスポーツの盛んな地であることから、「ヨット」をモニュメントとし、旧町（西淡町）当時の町木「マツ」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。

### 6 角川公園 <洲本市>



洲本市五色町が北海の調査・開拓事業を起こした高田屋嘉兵衛ゆかりの地であることから、「北前船」をモニュメントとし、旧町（五色町）当時の町木「マツ」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。

### 8 西路公園 <南あわじ市>



長い歴史と伝統に育まれ、現在も地元の基幹産業である淡路瓦を基調に「緑の道しるべ」として整備しました。公園の全観は、瓦の丘、または波打つ瓦の古墳のようにも見えます。西路公園は葺（いらか）公園の名に相応しく、瓦づくしの公園です。

### 9 賀集公園 <南あわじ市>



南あわじ市賀集に、国指定重要無形民俗文化財・淡路人形浄瑠璃の「淡路人形」をモニュメントとし、県の木「くすの木」をシンボル樹とする「緑の道しるべ」として整備しました。園内にある淡路島を形どった築山では、島内の著名箇所を案内しています。

### 10 阿那賀公園 <南あわじ市>



淡路島南部で発見されたアンモナイトの化石のモニュメントがあります。

① 県道 福良江井岩屋線 道路護岸補強工事

淡路市 野島江崎

→ 工事前の課題

緊急輸送道路であるため、老朽化した護岸の補修が必要でした。

BEFORE



BEFORE



AFTER



AFTER



護岸が補強され県道が安心・安全に通行できるようになりました。(道路第1課 太田職員)

完成

② 湊排水機場更新工事

南あわじ市 湊

→ 工事前の課題

高潮時の浸水被害を軽減するための排水機場が古くなったため、新しくする工事を行っています。

施工中

完成イメージ



現排水機場

工事中的新排水機場



狭い場内で多くの工事が同時に施工していますが、安全に注意しながら一日でも早い完成を目指しています。(港湾第2課 笹川職員)

③ 県道 福良江井岩屋線 舗装修繕工事[アワイチ関連]

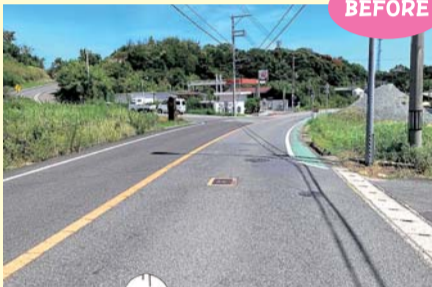
洲本市 五色町都志角川 外

→ 工事前の課題

自転車の通行に際し、路肩幅の確保が必要でした。また舗装の傷みが激しく修繕が必要でした。

完成

BEFORE



AFTER



舗装修繕と併せて溝蓋を掛けたことで、自転車の通行スペースを広げて、自転車・自動車にとって安全な通行が出来るようになりました。(道路第2課 増田職員)

④ 宇山地区 かけ崩れ対策工事

洲本市 宇山

→ 工事前の課題

昨今の大雨等による土砂災害の被害が心配されました。

完成

BEFORE



AFTER



崖崩れが起こった際、擁壁と落石防止柵が土砂を止め、人家になだれ込むことを防ぎます。(河川砂防課 中谷職員)

⑤ 岩屋港防波堤(東)改良工事

淡路市 岩屋

→ 工事前の課題

近年の大型化する台風等により、荒天時は港内への船の停泊に支障がありました。

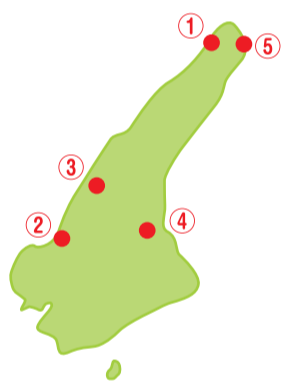
BEFORE



完成



利用者の皆様からは、台風が来ても安心して係船出来るようになったと、ご意見をいただきました。(港湾第1課 大道主任)



第12回 洲本川レガッタ2022が開催されました



2004(平成16)年の台風第23号で大きな被害を受けた洲本川の復興を記念するボート競技大会『洲本川レガッタ2022』が、晴天に恵まれた9月4日(日)に洲本川河口で開催されました。



「あわじ足ナビ」10月1日～を発行しました



淡路島総合公共交通情報『あわじ足ナビ』をぜひご利用ください。

観光客が公共交通を利用しやすくするため、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の時刻表、乗り換え情報、淡路島内の観光情報を掲載しています。

各市役所、県民局にて無料配布しています。県民局では郵送(郵便代が別途必要)でも対応しています。

あわじ足ナビ

検索



問い合わせ先▶(一社)淡路島観光協会  
☎0799-25-5820

洲本土木事務所のSDGs取り組み



令和4年10月24日(月)～30日(日)に洲本バスセンター待合所内テナントスペースで『SDGs』をPRするパネル展示・イベントを開催しました。

県民の皆さんに、道路・河川などの社会基盤の整備や災害時における対応がどうSDGsに関連するのか説明を行い、たくさんの方に参加いただきました。職員の熱心な説明に、来場者は興味を持って聞き入っていました。



兵庫県の『SDGs』の取り組み

『SDGs』とは持続可能な(Sustainable)開発(Development)目標(Goals)。2015年9月の国際サミットで採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ(プラン・計画)』に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。

兵庫県は、誰もが希望をもって生きることのできる社会を次の世代に届けるべく、企業や団体、教育機関、県民などとともにSDGsを推進します。

備える

支える

つなぐ

# 淡路さわやか県土

「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

お問い合わせ先

淡路県民局洲本土木事務所  
企画調整担当  
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
[TEL] 0799-26-2055  
[FAX] 0799-24-4513  
[URL] <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
[e-mail] [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

発行：2023年3月20日

2022

Vol.63

## 社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。



兵庫県の淡路島では南海トラフ巨大地震が発生すると大きな津波による被害が予想されています。特に南あわじ市の福良港では、甚大な浸水被害が予想されており、その被害の低減に向けて福良湾に防波堤を整備する「湾口防波堤整備事業」を進めています。

この湾口防波堤と海岸沿いに整備する防潮堤や陸閘により、浸水面積を小さくし、浸水の深さを浅くするとともに、津波の到達を少しでも遅らせることで、ヒト・モノの被害を軽減し、被害が生じていもいち早く復旧できることを目指しています。

湾口防波堤は

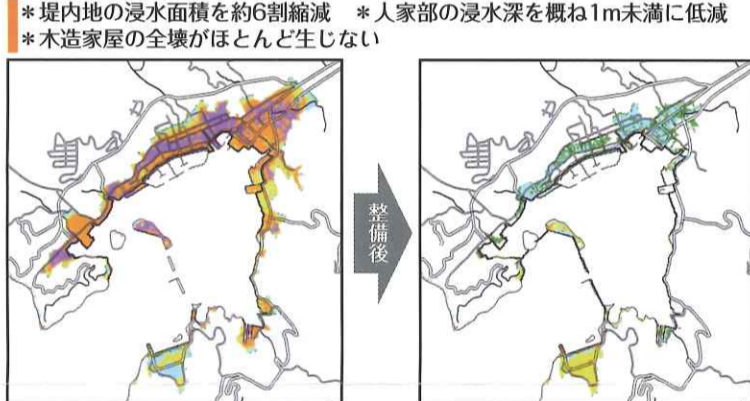
- ①新しく防波堤を整備する区間
- ②既存の防波堤を高上げる区間
- ③水門を整備する区間

## 兵庫県最大の津波に備えて ～福良港 湾口防波堤～

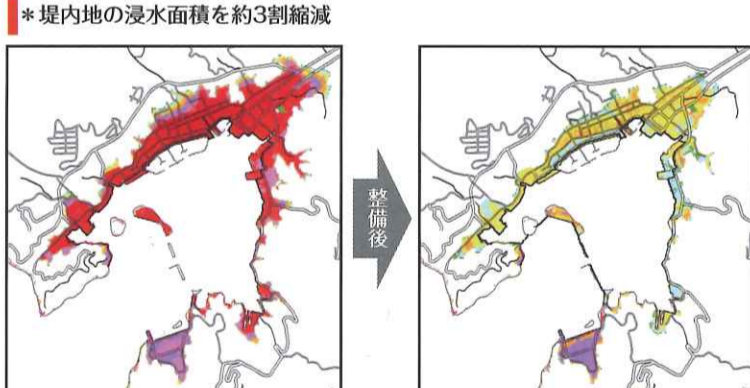
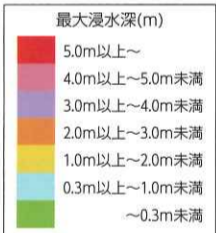
で構成されており、令和5年3月現在で約80%の施設整備が完了しています。平成29年に工事着手し、令和6年の完了予定に向けて、現在も工事を進めています。

### 湾口防波堤整備による被害の軽減

**レベル1津波**  
M8.4 安政南海地震並みの地震動による津波



**レベル2津波**  
M9.0 最大クラスの地震の地震動による津波



出展：津波防災インフラ整備計画(兵庫県)

### Topics ①

右の施設は防災を学べる「うすまる」です。建物は特殊な素材を使っていますが、皆さんは、この建物の壁がなぜ錆びているのかを知っていますか？気になるひとは行ってみよう!!



### Topics ②

煙島と洲崎の間に新設する煙島水門は「海底設置型フラップゲート」と言い、西日本で初めて整備される新しい技術の水門です。浮力を利用して扉を閉鎖します。



### 写真で振り返る



平成30年1月 洲崎工区 かさ上げに着手



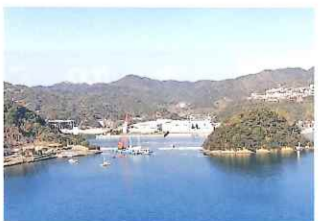
平成30年10月 洲崎工区 仮設栈橋の完成



平成31年2月 じゃのひれ側 仮設栈橋



令和2年6月 新設、かさ上げを進める



令和3年1月 煙島～休暇村の整備



令和3年12月 煙島水門の設置

### 湾口防波堤整備後のイメージ

若人の広場より撮影(向かって左端が休暇村、右側がじゃのひれ)。元々は真ん中あたりにしか防波堤はありませんでしたが、3か所の開口部を除き、防波堤を整備します。

着手する前



完成イメージ



## 最近の工事紹介



### ① 県道 大谷鮎原神代線 歩道設置工事

淡路市 大町畑

#### → 工事前の課題

歩道がなく、歩行者の安全のため歩道設置工事を行いました。



BEFORE

#### AFTER



年度内に歩道工事を完成させ、ため池の機能回復も行います。(道路第1課 太田職員)

2023年3月末  
完成予定

### ② 県道 洲本五色線 舗装修繕工事

洲本市 五色町鮎原

#### → 工事前の課題

舗装が悪く、車の運転がしずらくなっていたため、新しく舗装をし直します。



BEFORE

#### AFTER



舗装修繕すると共に段差舗装をする事により交通事故の防止を目指します。(道路第2課 田中職員)

完成

## 昔の写真でみる社会基盤 ~橋、道路編~

### 洲本市 塩屋橋

洲本市塩屋2丁目の塩屋橋。1918(大正7)年6月兵庫県淡路島の洲本川に初めて架設した鉄骨橋です。当時は車道と歩道の区別はなく、それだけ交通量が少なかったのです。バスやトラックが通るとその振動で長さ60mの橋が揺れたそうです。

老朽化もあり、1958(昭和33)年4月に、『洲本橋』(兵庫県洲本総合庁舎前)として完成させ、塩屋橋は撤去されました。

塩屋橋は現存する唯一のポニートラス橋で貴重な鉄骨橋であったため、『登録有形文化財』に指定され、現在は淡路島公園に移設されています。

#### 昭和初期



※洲本市立淡路文化資料館 提供

#### 昭和31年



※撮影=宗 虎亮氏

現在は、新しい『洲本橋』が少し上流に完成したため、元々あった場所に橋はありません。



#### 現在



遺産的価値を評価され、登録有形文化財に指定されています。

登録有形文化財プレート

### 南あわじ市阿那賀 県道 阿万福良湊線

まだ防潮堤が築かれていない頃の県道。

写真は三原郡連合青年団が主催した三原郡一周駅伝大会のもの。この大会には一般青年のほか、高校生や中学生の各5チームが参加しました。前後に伴走する主催者の車も、対向車線にふくれて伴走できたのんびりとした時代だったのでしょうか。

#### 昭和45年



※樹林舎『淡路島今昔写真集』より  
提供=南あわじ市

現在、海岸線には防潮堤が築造され、消波ブロックも積まれています。しかし冬は海風が強く、波が防潮堤を越えて道路を濡らすこともしばしば。



#### 現在

### 淡路市岩屋 県道 福良江井岩屋線

淡路市岩屋。対岸の明石と、フェリー・連絡汽船で結ばれる島の北の『玄関口』です。真ん中の家を中心に左側が県道(その家の先は国道)で、右側の路地が商店街です。

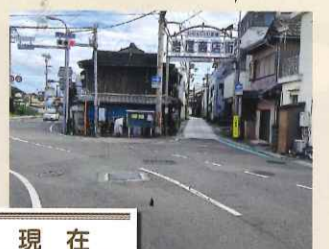
昭和29年に岩屋と明石を結ぶ県営明石フェリーが開通しましたが、道はまだ未舗装で雨が降れば水たまりができ、靴を泥んこにしながら汽船場に行ったことでしょう。

#### 昭和31年



※撮影=宗 虎亮氏

現在は、道路も舗装され、商店街は今も当時の道幅を残し、同じ光景を見ることが出来ます。



#### 現在

## お知らせ

### 『アワイチ フォトスポット』を設置しました!

淡路島は、サイクリングに適した場所であり、その北端に位置する岩屋港は、淡路島と本州をつなぐ海の玄関口として、『アワイチ』の出発点となっています。

そこで、岩屋港に隣接するポートパークにフォトスポットを設置しました。今後はポートパークを全面的に更新し、周辺施設と一体的にリニューアルします。風光明媚な『絵島』や、人気を集める『アワイチ』の出発点にふさわしい魅力ある公園に生まれ変わります。



祝 岩屋港ポートパーク アワイチフォトスポット  
完成式典(令和5年3月3日)